

地域振興プラン【沿岸広域振興圏】（令和5年度～令和8年度）の取組状況

※進捗状況：◎達成、○順調、△課題あり（遅延等）、▲未着手

項目（何を）	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)				現状と課題・今年度の取組内容	進捗 状況	第3四半期までの取組内容と成果及び課題	今後の取組予定	担当	
	単位	現状値 (2021) R3	実績値 (2023) R5	目標値 (2024) R6						実績値 (12月末)
保健福祉環境部 地域振興プラン関係										
3 被災者一人ひとりに寄り添い、心身ともに健やかで安心な暮らしができる環境をつくります										
(1) 被災地の健康づくりとこころのケア										
1	★ 【指標】 健康づくり講座などの参加者数 (累計)	人	718	1,070	867	1,315	○	① 健康づくり講座 2回 (11/11、11/17) 40人 ② 健康づくり応援キャンペーン 3回 (5/11、10/5、10/22) 205人	・健康づくり講座は、随時実施。	保健課
2	★ 【指標】 傾聴ボランティア研修会等参加者 数(累計)	人	190	256	234	271	○	① 傾聴ボランティアフォローアップ講座 (3保健所合同) 1回 (10/10) 6人 ② 傾聴ボランティア団体活動支援 2回 (4/11、9/24) 9人	・傾聴ボランティア団体活動支援の継続	保健課
3	★ 【指標】 自殺予防に取り組む関係者研修会 参加者数(累計)	人	841	1,106	989	1,236	○	・気仙地域精神保健福祉担当者連絡会 2回 (5/29、12/18) 60人見込 ・沿岸圏域自殺対策研修会 (3保健所合同) 2回 (9/25、12/12) 70人	・気仙地域自殺対策推進連絡会議 1回予定	保健課
4 安心で快適な生活環境と活力ある地域社会をつくります										
(1) 食の安全・安心の確保										
4	★ 【指標】 食品取去検査(弁当、そうざい) の基準適合率	%	82	100	100	100	○	・令和6年度食品取去検査計画に基づく取去検査 (弁当、そうざい)を実施[当年度分終了] 検体数：11検体 基準適合：11検体 ・社会福祉施設等の給食施設に対する監視：23 施設	・岩手県食品衛生監視指導計画に基づき適 切に監視指導を実施	環境衛生課
5	★ 【指標】 HACCPに関する講習会の受講 者数(累計)	人	948	1,367	1,320	1,482	○	○HACCP導入に関する講習会を実施 開催回数：8回、受講者：115人 ・継続講習会(4月、5月、7月、8月、10 月、11月 57名) ・HACCPワークショップ(12月 10名) ・その他講習会(7月 48名)	・講習会等により、引き続きHACCP導入支援を 促進 ・継続講習会(2月開催予定)	環境衛生課

項目（何を）	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)					現状と課題・今年度の取組内容	進捗 状況	第3四半期までの取組内容と成果及び課題	今後の取組予定	担当
	単位	現状値 (2021) R3	実績値 (2023) R5	目標値 (2024) R6	実績値 (12月末)					
(3) 動物愛護思想の普及と動物のいのち図大切にす取組の推進										
6	★ 【指標】 圏域内の犬・猫の返還・譲渡率	%	100	100	100	100	○	・飼養数：犬0、猫9（ボランティア預かり除く） 捕獲 1 - 引取り 1 53 負傷保護 0 4 返還 2 1 譲渡 1 43 ・保護猫譲渡会：2回（9/30、12/14） ・譲渡会において同行避難の普及・啓発実施 ・適正飼養について、随時指導 ・ボランティア登録人数：2名	・引き続き動物愛護思想や動物の適切な管理方法に関する普及・啓発を実施 ・猫の引取り数減少と多頭飼育問題解決に向け、引続き関係機関と連携 ・福祉部門との連携会議（2月実施予定） ・子猫の一時預かりボランティア育成支援による子猫の譲渡を推進	環境衛生課
5 良好な自然環境の保全・活用と持続可能な生活環境の整備を進めます										
(1) 自然環境の保全と活用の推進										
7	★ 【指標】 三陸ジオパーク等を活用した環境保全活動実施団体数（累計）	団体	3	5	6	7	○	・環境学習推進事業（地経費）の委託契約を2団体と締結 ・環境学習推進事業を受託した2団体が環境学習イベントを開催（7/21・20人、11/16・10人） ・環境保全団体と連携した海岸清掃活動を予定していたが、天候不良により中止（9/21）	・本局が開催する意見交換会にて事業成果を発表するとともに、来年度以降に向けた関係団体の掘り起こしを実施（2月）	環境衛生課
8	★ 【指標】 排水基準適用の事業場における排水基準適合率	%	100	100	100	84	○	・管内35事業場のうち33事業場の立入検査を実施（12月末） → 21事業場について排水基準適合を確認 → 4事業場について基準超過（のおそれ）があり、改善指導 → 8事業場については検体を検査機関で分析中（12月末時点）	・引き続き監視・指導を実施	環境衛生課
(2) 廃棄物減量化対策などによる循環型地域社会の構築										
9	★ 【指標】 沿岸圏域の住民一人1日当たり家庭系ごみ（資源になるものを除く）排出量 ※一般廃棄物処理実態調査結果（環境省公表）引用 ※排出量=家庭ごみ排出量/総人口/365日	g	606	610	592	未確定	○	・クリーンいわて運動（6/12）を行い、廃棄物の減量化、3R等の推進に関する意識啓発を実施 ・環境関連イベントでチラシ、エコログッズ等により3R等の推進に関する意識啓発を実施（7/28）	・一般廃棄物の処理主体である市町村と連携しながら、市町村のごみ減量化に向けた取組に対し必要に応じて助言等を実施	環境衛生課
10	★ 【指標】 産業廃棄物適正処理率 ※適正処理率（%）=100-〔（B/A）×100〕 A：立入件数 B：報告徴収件数	%	100	100	100	100	○	・排出事業者及び廃棄物関係施設等への立入検査を実施（計2,528件（12月末時点）） ・関係機関と合同で建設リサイクル合同パトロールを実施（6/13、10/15） ・市町村、警察などとの不法投棄監視合同パトロールを実施（11/27）	・引き続き、排出事業者や処理業者に対し、適正処理に係る指導を実施 ・不適正事案については、立入検査を継続し、進捗確認及び指導を実施	環境衛生課

項目（何を）	達成レベル・目標 (いつまでに、どのような状態にするか)				現状と課題・今年度の取組内容	進捗 状況	第3四半期までの取組内容と成果及び課題	今後の取組予定	担当	
	単位	現状値 (2021) R3	実績値 (2023) R5	目標値 (2024) R6						実績値 (12月末)
(3) 再生可能エネルギーの導入促進などによる地球温暖化対策の推進										
11	★ 【指標】 「いわて地球環境にやさしい事業所」新規認定数（累計）	事業所	2	4	3	4	○ 〈現状と課題〉 産業・業務における省エネルギー化を推進するため、事業者による環境に配慮した事業活動や取組への支援が必要 〈今年度の取組内容〉 事業者への認定制度周知を行い、新規認定事業所の確保に取り組む	○ ・1事業所を新規認定（4/30） ・来庁時等に、「いわて地球環境にやさしい事業所」認定及び「エコスタッフ養成セミナー」について周知を実施 ・業界団体参加の会議（森川河流域協議会、参加人数17人・10/9）の参加者へ認定制度及びいわて脱炭素カルテについて周知を実施	・いわて脱炭素カルテ提出時、廃棄物関連年度報告書提出時等の機会を捉えてちらしを活用して制度の周知を実施	環境衛生課
12	★ 【指標】 「地球温暖化を防ごう隊」への圏域内小学校参加率 ※小学校数21校	%	4.8 (1校)	4.8 (1校)	9.5 (2校)	9.5 (2校)	○ 〈現状と課題〉 気候変動に対応するため、家庭における身近な省エネルギー等の取組を通じて、意識醸成を図ることが必要 〈今年度の取組内容〉 各学校や教育委員会への働きかけなどにより、小学校の参加を促進	○ ・4月に管内の全小学校（21校）へ、「地球温暖化を防ごう隊」の事業内容及び参加を呼び掛けるお知らせを郵送 ・2校が応募（大船渡市立越喜来小学校、大船渡市立猪川小学校） ・管内の小学校へ再度通知するなど「地球温暖化を防ごう隊」への小学校の参加を促進（11月）	・今年度実施した小学校に対して表彰状を交付し、報道機関への情報提供等により制度の周知を行っていく（2～3月予定）。	環境衛生課
6 安心して子どもを生み育てることができ、高齢者や障がい者がいきいきと、健やかに暮らせる社会をつくります										
(1) 結婚支援や、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の推進										
13	★ 【指標】 結婚サポートセンター（i-サポ）入会登録者数（累計）	人	67	96	97	98	○ 〈現状と課題〉 沿岸圏域では、若年人口の流出が続き、未婚化及び晩婚化により合計特殊出生率が低い水準にとどまっていることから、住民が安心して家庭を持ち子どもを産み育てることができる環境の整備が必要 〈今年度の取組内容〉 【地経費】「さんりく結婚応援支援事業」による婚活支援事業との連動や各種婚活イベントの情報発信、「いきいき岩手」結婚サポートセンターを企業への訪問等により周知し、会員登録を推進するとともに、マッチングを支援 ・セミナーの開催（3回） ・婚活イベントの開催（3回） ・i-サポのPR（3回）	○ ・三陸・大船渡夏まつりや庁舎内等でのパンフレットの配架によりi-サポのPRを実施 ・地域振興センターで実施している企業訪問において、i-サポのPRを実施	・地域振興センターで実施している事業所訪問等において、i-サポのPRを実施	管理福祉課
14	★ 【指標】 「いわて子育て応援の店」延べ協賛店舗数（累計）	店舗	44	60	59	60	○ 〈現状と課題〉 沿岸圏域では、若年人口の流出が続き、未婚化及び晩婚化により合計特殊出生率が低い水準にとどまっていることから、住民が安心して家庭を持ち子どもを産み育てることができる環境の整備が必要がある。 〈今年度の取組内容〉 社会全体で子育てを支援する機運の醸成に向け、「いわて子育て応援の店」協賛店舗数を企業訪問等での周知により拡充し、併せて子育て家庭へ協賛店情報を周知する。	○ ・県ホームページなどにより協賛のPRを実施 ・パンフレットの配架により制度のPRを実施 ・猪川小学校2年生に管内協賛店一覧を配布	・事業所訪問や県ホームページなどにより協賛のPRを実施（通年）	管理福祉課
15	★ 【指標】 ヤングケアラー問題の周知啓発活動（介護・障がい福祉関係機関対象）	回	-	4	3	1	○ 〈現状と課題〉 ヤングケアラー問題は、教育・児童福祉関係機関が主体となって取り組んでいるが、背景に保護者や家族に介護や介助、支援等を行う必要がある場合があることから、介護及び障害福祉関係機関による支援体制の強化が必要 〈今年度の取組内容〉 教育・児童福祉関係機関の取り組みに加えて、支援体制強化のため、介護及び障害福祉関係機関に対し、集団指導や障がい者自立支援協議会等の場を通じて周知啓発を実施	○ ・啓発用資料の配架により周知を実施 ・介護保険事業所等集団指導で周知啓発（8/29）	・介護、障害福祉関係者や民生委員等に対し、会議・研修会等で周知を実施（1～2月）	管理福祉課

項目（何を）	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)				現状と課題・今年度の取組内容	進捗状況	第3四半期までの取組内容と成果及び課題	今後の取組予定	担当			
	単位	現状値 (2021) R3	実績値 (2023) R5	目標値 (2024) R6						実績値 (12月末)		
(2) 高齢者の生きがいづくりや社会参加活動の推進												
16	★	【指標】 介護予防に資する住民主体の通いの場（※）への参加者数	人	1,723	1,631	1,829	集計中	〈現状と課題〉 沿岸圏域は県内でも高齢化率が高いことから、高齢者が生きがいを感じながら、より健康でいきいきと暮らすことができる社会の構築が必要 〈今年度の取組内容〉 社会参加活動を通じた住民主体の健康づくりや介護予防の取組、要介護状態からの自立支援などを推進	○	・介護予防地域支援事業研修会の実施（10/23）	・「通いの場」取組事例の情報提供（随時）	管理福祉課
17	★	【指標】 認知症サポーター養成数（累計）	人	10,185	11,416	11,575	11,572 (9月末)	〈現状と課題〉 沿岸圏域は県内でも高齢化率が高いことから、認知症になっても安心して生活を送れるよう環境を構築することが必要 〈今年度の取組内容〉 ・認知症になっても安心して生活することができるよう、成年後見制度の利用を促進 ・認知症の人やその家族を支援するため「認知症サポーター」や「認知症キャラバン・メイト」などの普及啓発を実施	○	・「いわて認知症希望大使」候補者の掘り起こし（5月） ・認知症ケアセミナーの開催周知（5月）	・市町村が行う認知症に関する各種事業への協力及び支援（随時） ・認知症の普及啓発（随時）	管理福祉課
(3) 障がい者の自立支援や社会参加の促進												
18	★	【指標】 障がい者就業・生活支援センター等の支援対象者の一般就労就職率	%	36.5	29.9	28.0	11.3	〈現状と課題〉 障がい者が必要なサービスを受けながら希望する地域で安心して生活できるよう、市町村、障がい福祉サービス事業者及びハローワークなどによる就労・生活支援体制などの充実が必要 〈今年度の取組内容〉 障がい者自立支援協議会の活動を通じて、地域での受入体制の整備を支援するとともに、障がい者雇用の向上、就労機会の拡大に向けて協議等を実施	○	・自立支援協議会就労部会・気仙障がい者就業・生活支援センター連絡会議（5/15、7/17、9/11） ・自立支援協議会運営会議（6/13） ・8月末：就職希望者106人、就職者12人⇒就職率11.3% ・12月末：就職希望者106人、就職者12人⇒就職率11.3%	・気仙地域障がい者自立支援協議会への出席等を通じ、障がい者就労に係る支援を継続的に共有	管理福祉課
19	★	【指標】 ひとにやさしい駐車場利用証交付数（累計）	件	1,092	1,268	1,266	1,314	〈現状と課題〉 障がい者が必要なサービスを受けながら希望する地域で安心して生活できるよう、ユニバーサルデザインに対応した公共的施設等の拡充が必要 〈今年度の取組内容〉 ・「ユニバーサルデザイン」について、事業者、地域住民などによる取組や学校での啓発活動を支援 ・ユニバーサルデザインに対応した公共的施設の情報提供を行う「いわてユニバーサルデザイン電子マップ」の充実や「ひとにやさしい駐車場利用証制度」の普及啓発を実施	○	・5月末時点交付数：1,281枚 ・8月末時点交付数：1,302件 ・10月末時点交付数：1,314件（5月末比33件増） ・利用証申請書の市町村倉庫などへのチラシ配架による制度の広報	・市町と連携して周知等を実施	管理福祉課
(4) 医療と介護をつなぐ情報ネットワークを活用した、保健・医療・介護・福祉が一体となった地域包括ケアシステムの推進												
20	★	【指標】 地域医療情報ネットワークに登録している住民の割合	%	21.5	21.7	23.3	22.1 (9月末)	〈現状と課題〉 ・情報通信技術（ICT）を活用した地域医療情報ネットワークの更なる充実が必要 ・住民の利用に向けた普及啓発が必要 〈今年度の取組内容〉 ・地域医療情報ネットワークの活用に向けて、運営主体のNPO等や医療機関、介護事業者などの関係機関等との連携を促進	○	・令和6年9月末現在 登録住民の割合22.1% 加入者11,687人、管内の人口53,000人	・地域医療情報ネットワーク提供一般法人と連携し、必要に応じてネットワークへの住民参加に係る周知啓発を実施	管理福祉課

項目（何を）	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)				現状と課題・今年度の取組内容	進捗 状況	第3四半期までの取組内容と成果及び課題	今後の取組予定	担当			
	単位	現状値 (2021) R3	実績値 (2023) R5	目標値 (2024) R6						実績値 (12月末)		
7 安心して健やかに暮らせる地域医療の確保と健康づくりを進めます												
(1) 医療・介護人材の確保・育成や保健・医療・介護・福祉の連携強化												
21	★	【指標】 地域医療情報ネットワーク運営研修会参加者数（累計）	人	233	233	287	243 (9月末)	<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安定的な地域医療の提供のため人材の確保・育成などに取り組むことが必要 ②地域医療情報ネットワークが県内でもいち早く導入されて活用が始まっており、更なる充実が必要 ③大規模災害の発生に備えた医療提供体制を構築することが必要 <p>〈今年度の取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ①多様な就業ニーズに応じた短時間勤務（プチ勤務）などの導入により医療・介護人材の確保を支援するとともに、高校生等を対象とした意識啓発を促進 ②医療機関・介護事業所などの連携強化を支援するとともに、研修会により人材育成を図り、保健医療・介護・福祉の切れ目のない提供体制の構築を促進 ③災害医療訓練の実施により関係機関の連携体制を強化するなど、災害医療提供体制の構築を推進 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回理事会・社員総会開催（6/18） ・第1回地域連携シート操作説明会（10/23）出席者5施設10名 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人において運営研修会を開催（毎月） 	管理福祉課
(2) 食生活の改善や運動習慣の定着などによる生活習慣病の予防と高齢者の健康づくりの推進												
22	★	【指標】 企業対象の健康づくり出前講座・チャレンジマッチなどの参加延べ企業数（累計）	社	93	129	117	154	<p>〈現状と課題〉</p> <p>沿岸圏域では、65歳未満の働く世代のがん・脳卒中・心疾患等の生活習慣病による死亡率が特に高く、特定健康診査結果においても朝食欠食、喫煙、飲酒などの課題が多く、働く世代の生活習慣改善及び健康づくりの取組みが必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 企業対象の健康づくり出前講座 ② チャレンジマッチの実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関・団体と連携した各事業所等への周知・岩手県労働基準協会大船渡支部 500か所 ①健康づくり出前講座 5事業所 延5回（6/28,7/11,8/21,8/30,10/1）89名 ②健康セルフサポート事業 7事業所 延20回（6/6,7/18,8/7,8/21,8/26,9/2,9/5,9/6,9/12,10/2,10/10,10/16,10/18,10/24,11/26,11/29,12/2,12/11,未定）339名 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、事業所へ働きかけを実施 ①健康づくり出前講座の実施 ②健康セルフサポート事業の実施 	保健課
23	★	【指標】 健康管理機器の利用延べ人数（累計）	人	624	3,453	2,560	5,031	<p>〈現状と課題〉</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛、リモートワークなどの影響による運動不足からの体力低下や栄養の偏り等の健康状態の悪化懸念されることから、関係機関・団体と連携を強化し、健康づくりの取組を促進することが必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 健康づくりを実践する関係機関・団体へ健康管理機器貸与による健康・体力づくり支援 ② 健康管理機器を活用した健康づくり講座の開催 ③ スーパー等を会場とした健康づくりキャンペーン、市町健康まつり等住民向けイベントを活用した健康管理機器を用いた健康づくり普及啓発 	○	<ul style="list-style-type: none"> ①健康管理機器の貸与 34回（4/19,5/28,6/6,6/10,6/20,6/25,6/29,7/5,7/16,7/18,7/22,7/25,7/29,8/7,8/19,8/27,8/29,8/30,9/17,9/26,9/27,10/4,10/7,10/21,10/24,10/31,11/4,11/8,11/15,11/27,11/29,12/10,12/16）1361人 ②健康管理機器を用いた健康づくり普及啓発 5回（5/11,6/3,10/5,10/9,10/22）317人 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 	保健課
24	★	【指標】 外食栄養成分表示店の延べ登録数（累計）	店	28	37	40	38	<p>〈現状と課題〉</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛、リモートワークなどの影響による運動不足からの体力低下や栄養の偏り等の健康状態の悪化懸念されることから、日常生活の中で健康づくりを実践しやすい環境の整備が必要</p> <p>〈今年度の取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 外食栄養成分表示飲食店の登録推進 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○食品衛生講習会等における周知 2回32名 ①1店舗登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店へ働きかけを継続実施 	保健課

項目（何を）	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)				現状と課題・今年度の取組内容	進捗 状況	第3四半期までの取組内容と成果及び課題	今後の取組予定	担当	
	単位	現状値 (2021) R 3	実績値 (2023) R 5	目標値 (2024) R 6						実績値 (12月末)
25	(3) こころのケア対策などによる自殺対策の推進									
★	【指標】 事業所メンタルヘルス出前講座参 加者数(累計)	人	749	1,151	1,056	1,196	○	①岩手労働基準協会大船渡支部を通じて各事業所へ出前講座のチラシを配布し、出前講座の周知を実施 出前講座 2回(9/9、10/2) 45人 ②岩手労働基準協会大船渡支部を通じて各事業所へ「大船渡保健所だより」を配布し、保健所におけるこころの健康に関する相談窓口の周知を実施 ③ 事業所訪問 3か所(11/19)	①事業所からの希望に応じて随時実施	保健課